

An architectural rendering of a school building from an aerial perspective. The building is a large, rectangular structure with a central courtyard. The courtyard is a large, open space with a tree in the center. The building has multiple rooms, some with desks and chairs, and a central area with a tree. The building is surrounded by other buildings and greenery. A large, stylized orange letter 'C' is overlaid on the central courtyard area.

# 風土の中のさんぽミチ

子どもたちがニワをさんぽしながら様々な風土を発見できる園舎



## 0～2歳児の特徴



ほふくや歩くことで、毎日の発見を果敢に吸収する時期



豊かな豊橋の風土

気候

暑すぎず寒すぎない、  
過ごしやすい気候

風

夏場には、  
南東の心地よい風が吹く

自然

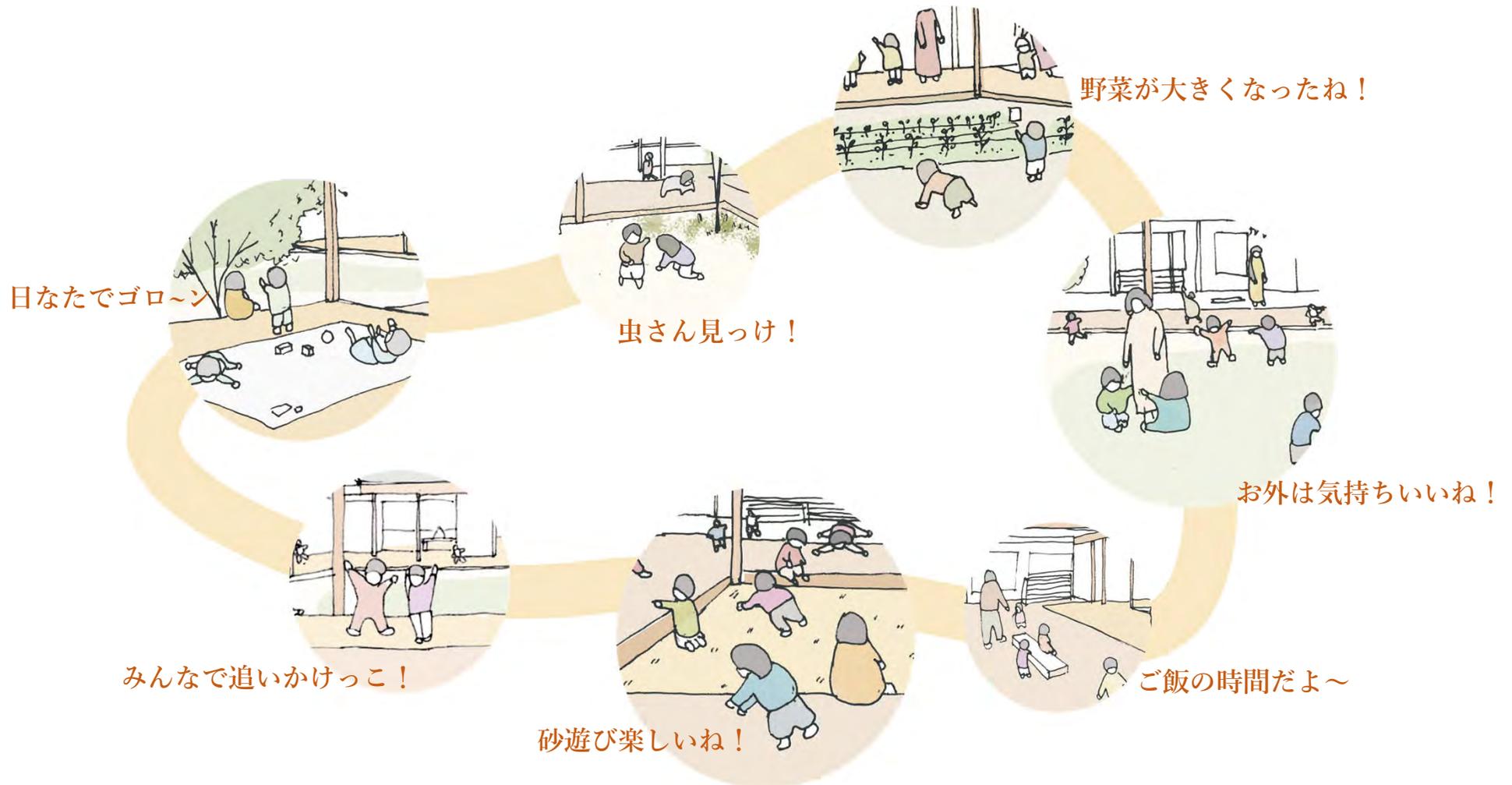
緑がすぐ近くにある環境  
少し近くには三河の山々が連なる  
豊かな土地柄

地域

公園、小学校、遊歩道、住宅地が接する  
公園と遊歩道は、地域の人の憩いの場となる

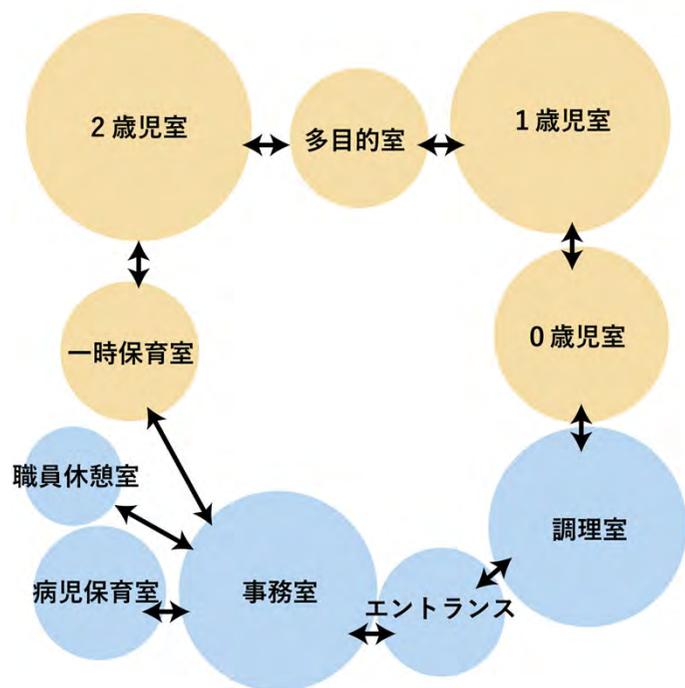


# さんぽをするように 風土を発見し、自ら学ぶことができる園舎



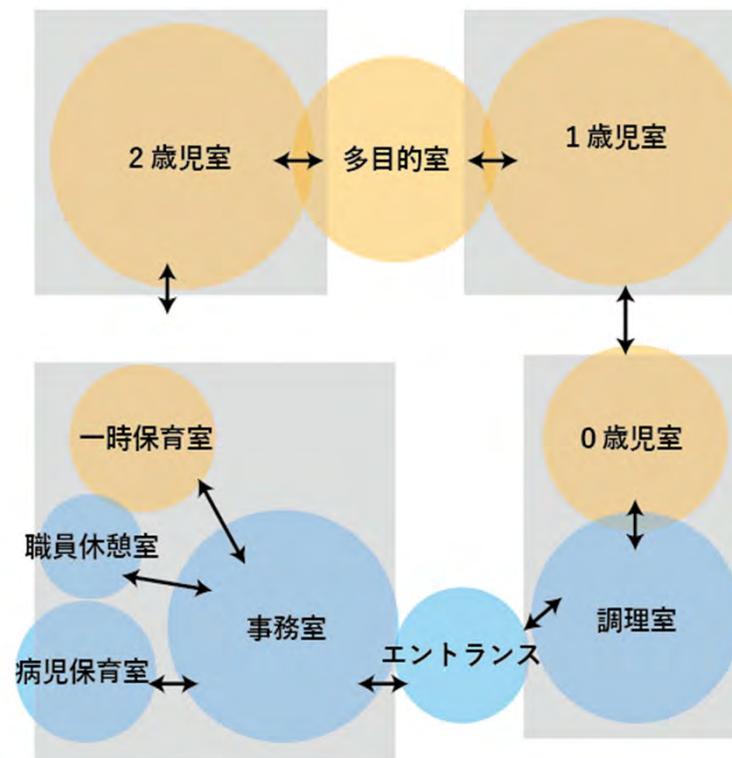


# 01



機能性や保育のしやすさから  
各機能を関係付ける

# 02



機能を集約しながら、園庭を  
囲む口の字型に建物を配置



03



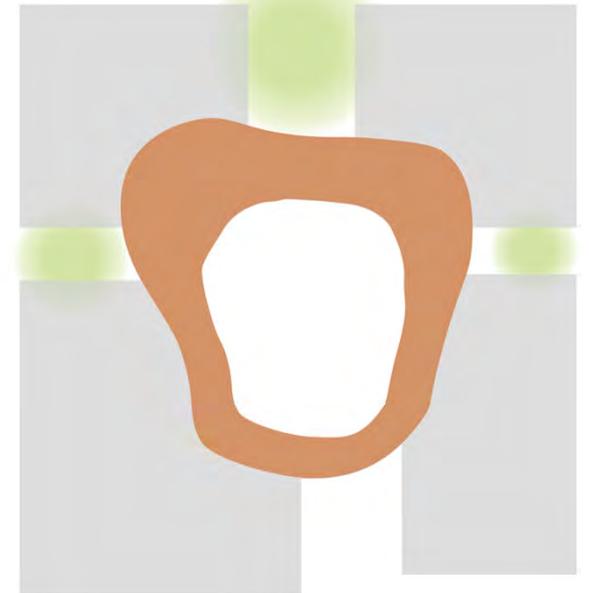
4つの箱を繋ぐ  
「さんぽミチ」を挿入

04



こどもたちの発達段階や  
過ごし方に合わせて  
さんぽミチを調節

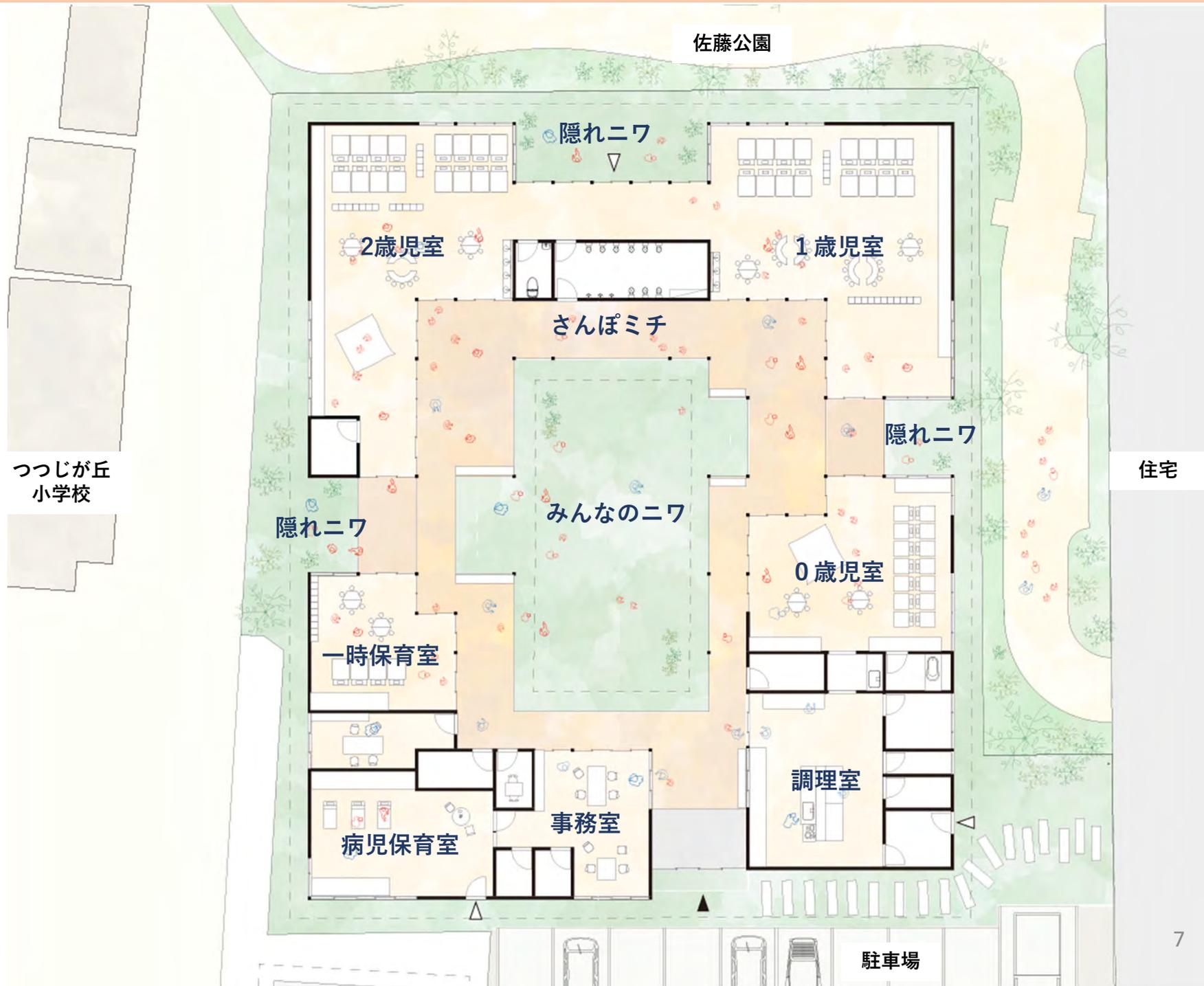
05



園舎の中に小さな居場所が  
できる



各諸室の配置



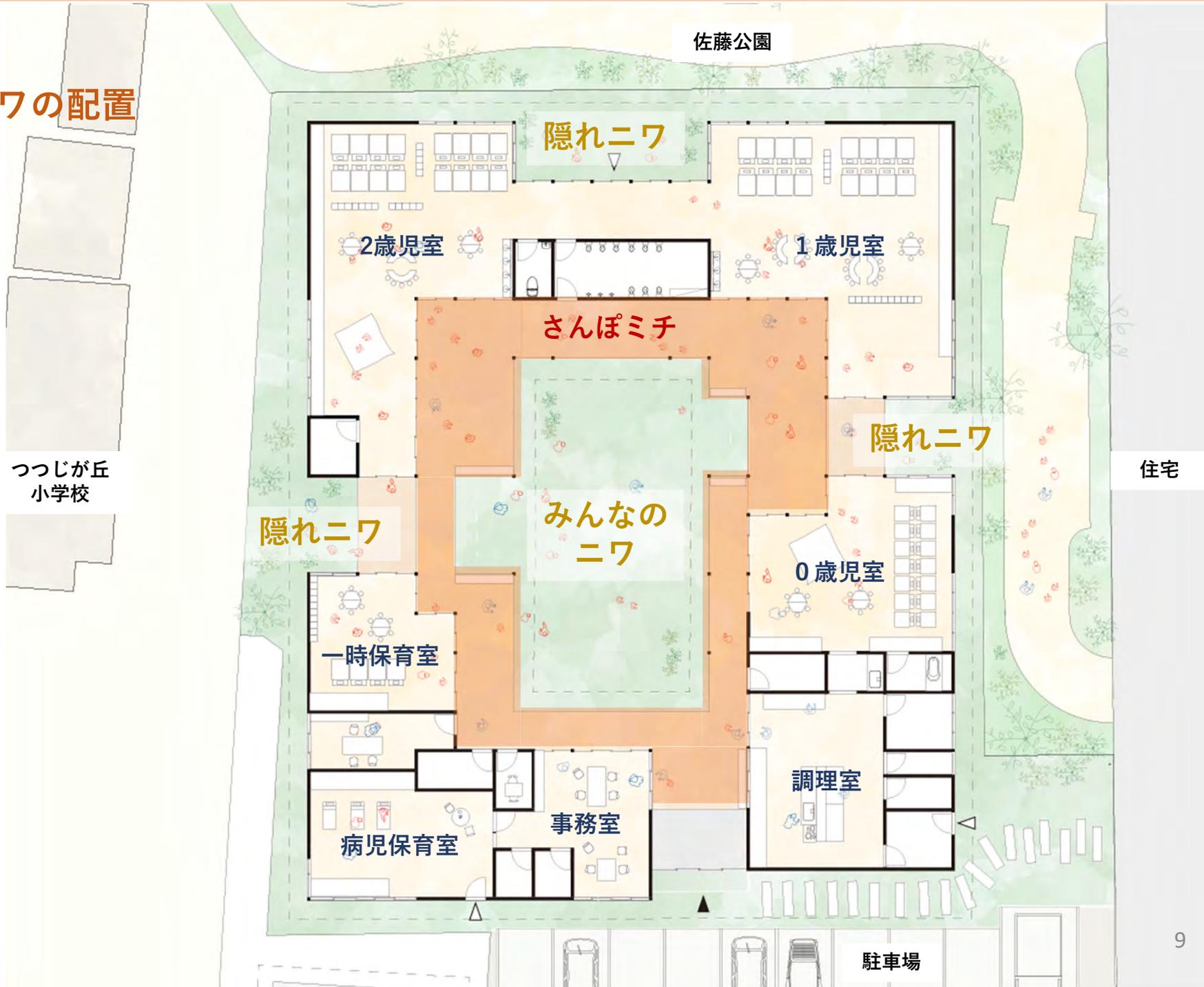


各諸室の配置





さんぽミチとニワの配置





## さんぽミチにより、使い方が柔軟に広がる保育室

●使い方に合わせ、パーティションにより空間を仕切ることができる

### 2歳児

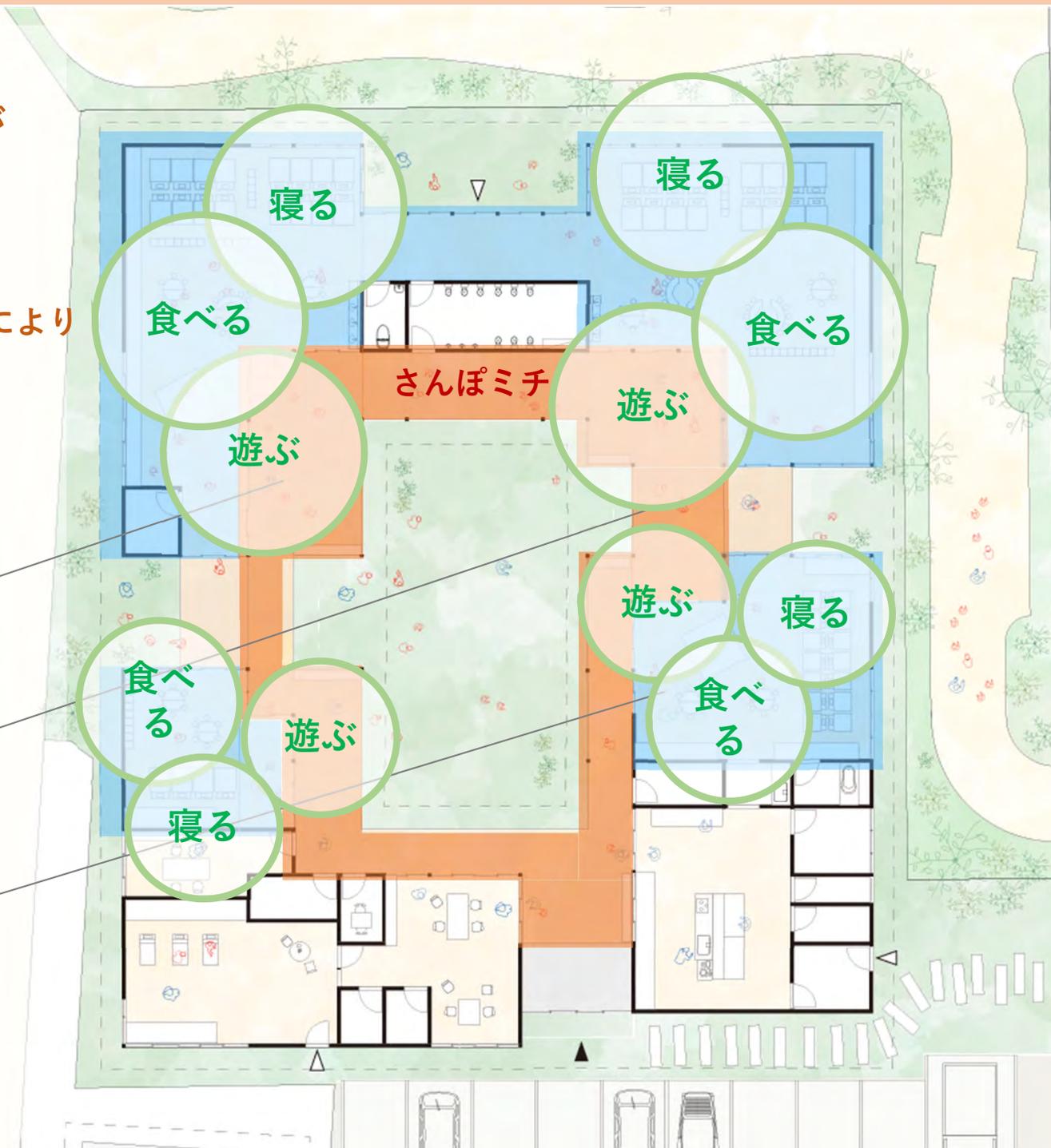
広々とした  
走り回れるさんぽミチ

### 1歳児

繊細な発達段階に合わせ、  
使い方を限定しない

### 0歳児

室内空間を大きくとりながらも  
自然環境を享受できる





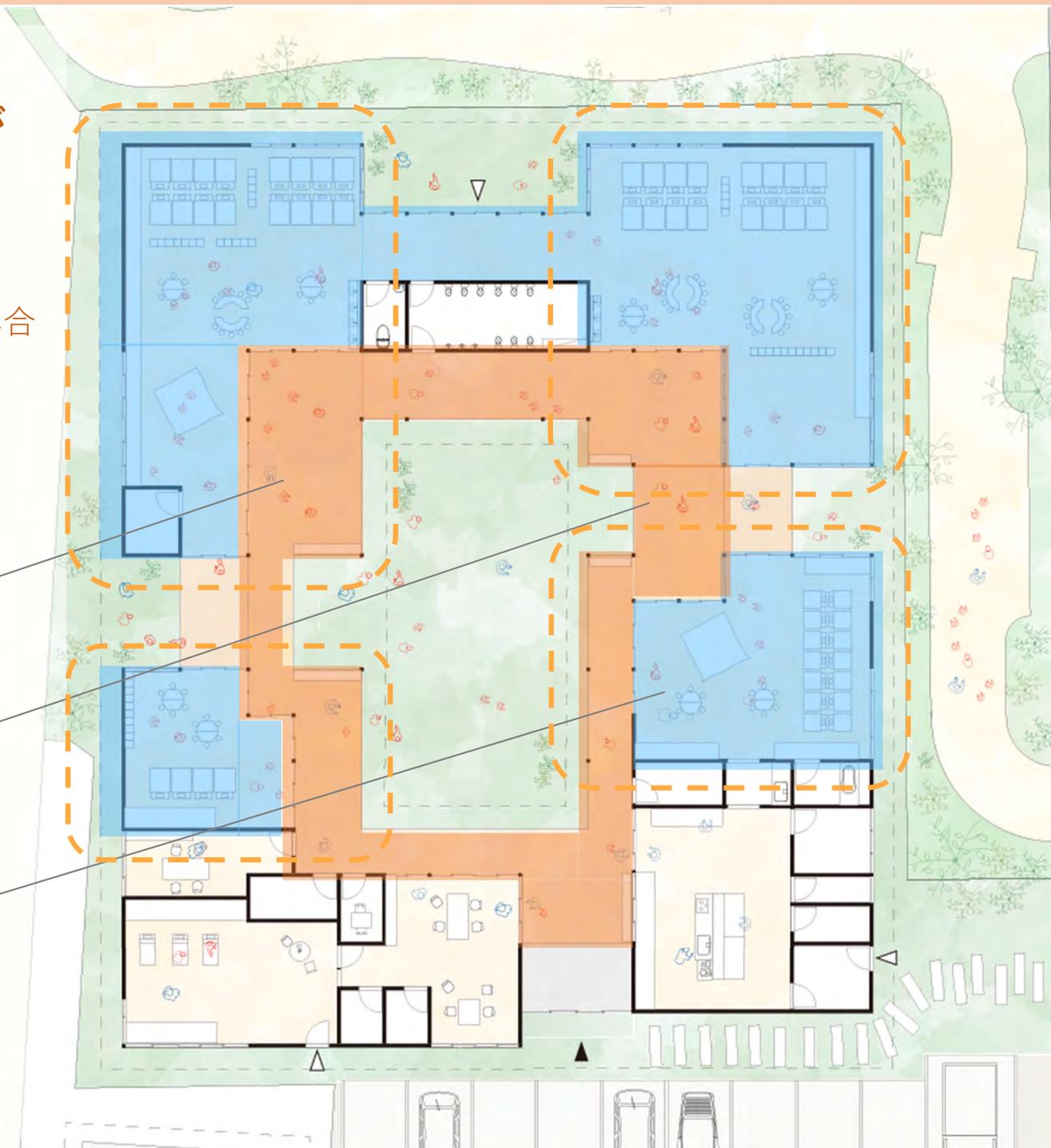
さんぽミチにより、使い方が柔軟に広がる保育室

●L字型の保育室とさんぽミチが組み合わさり、大きな部屋として使える

2歳児  
広々とした  
走り回れるさんぽミチ

1歳児  
繊細な発達段階に合わせ、  
使い方を限定しない

0歳児  
室内空間を大きくとりながらも  
自然環境を享受できる





## みんなのニワ

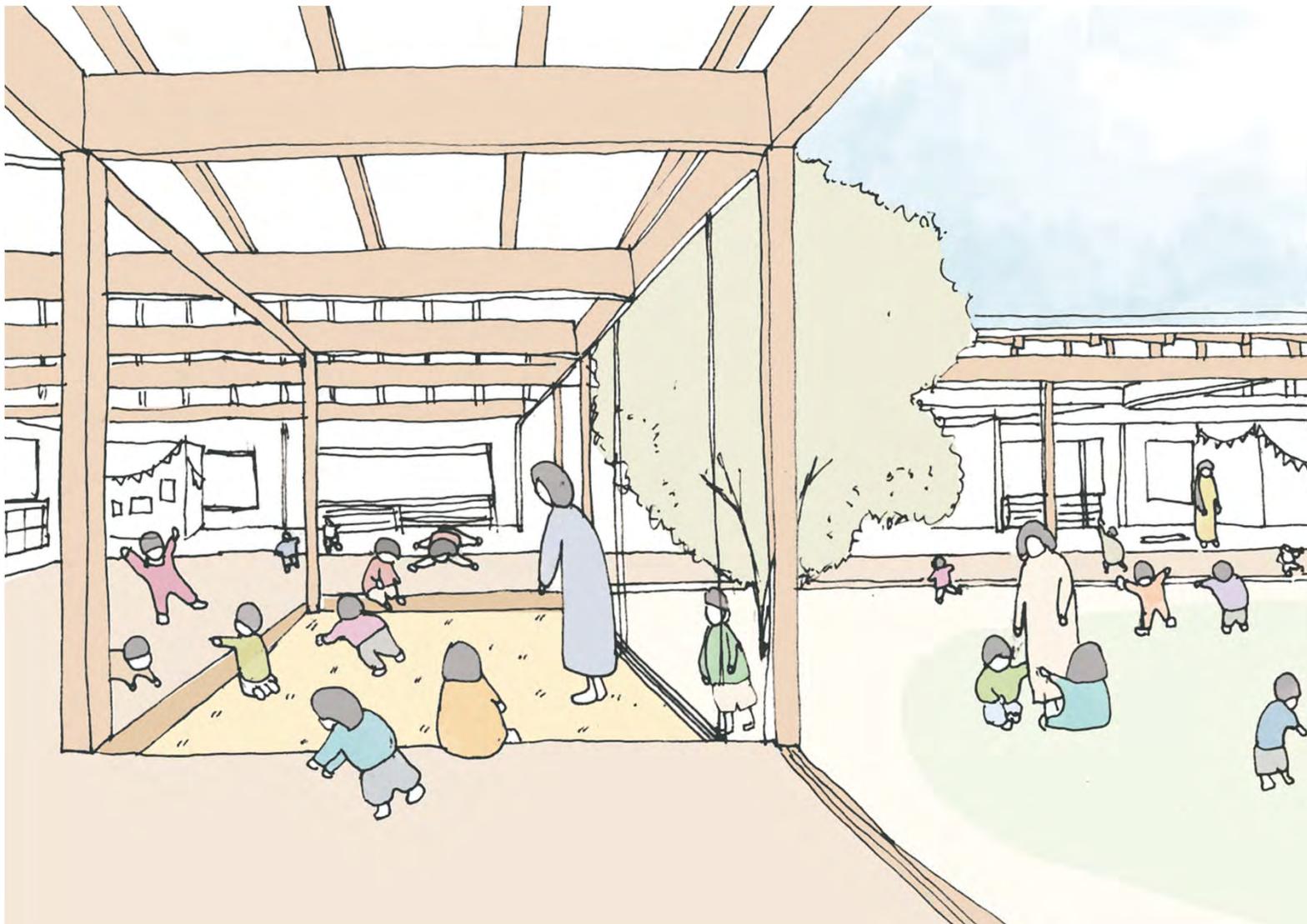
みんなのニワ全体が保育室と面し、どこからでも見渡せる





## 土ニワ

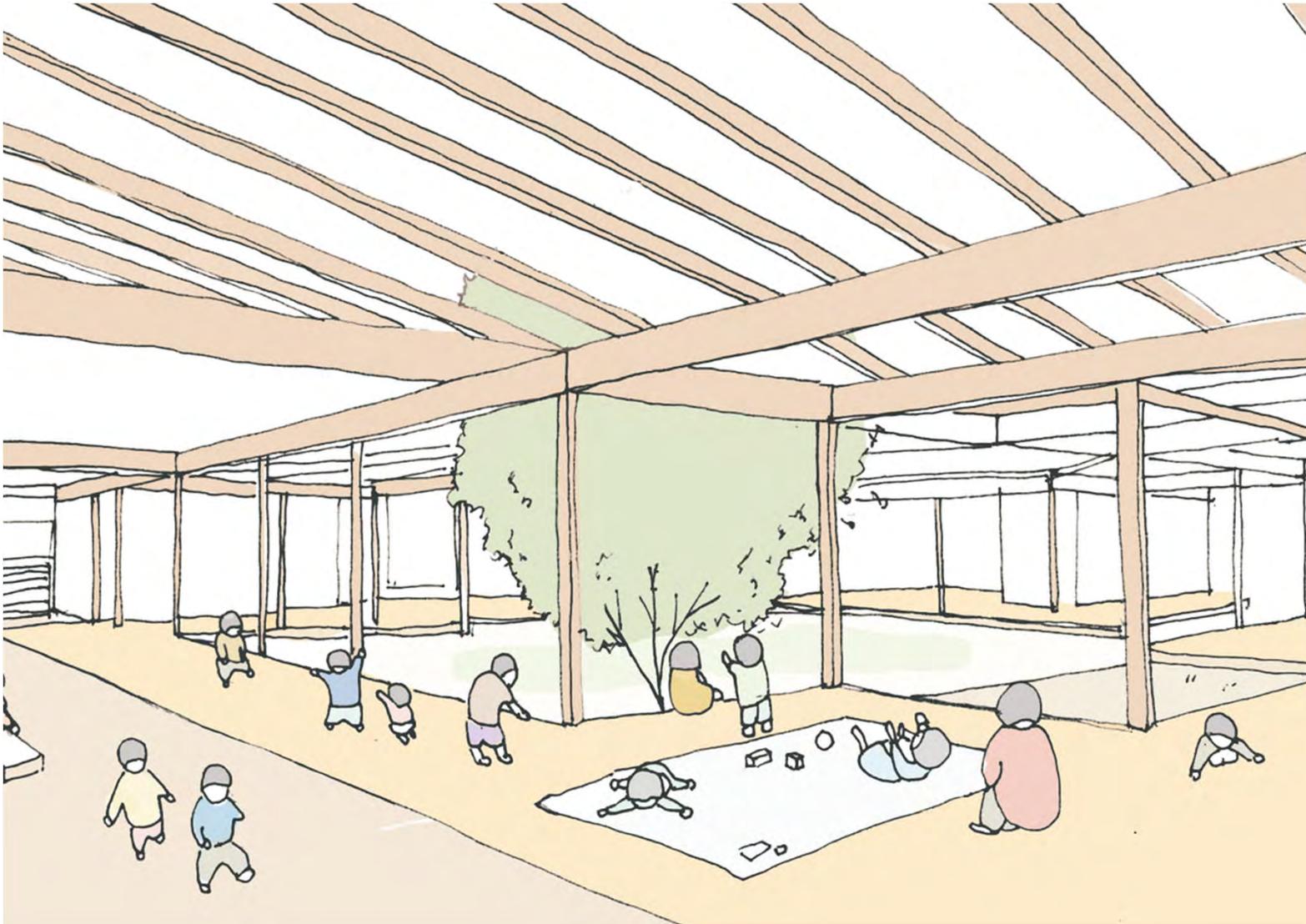
保育室の玄関口として、みんなのニワを繋ぐ役割を果たす





## さんぽミチ

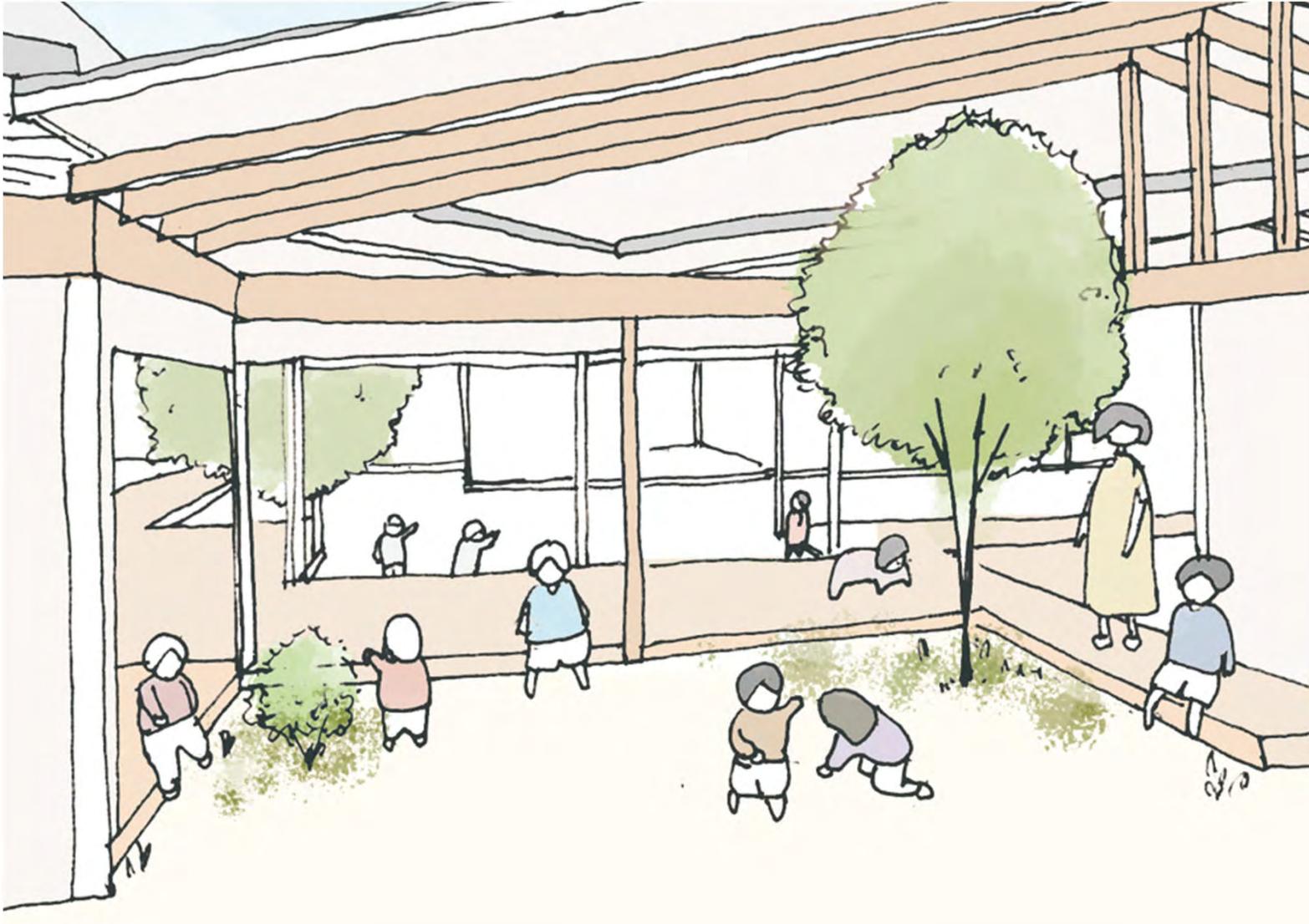
木漏れ日が落ちるさんぽミチで探索する





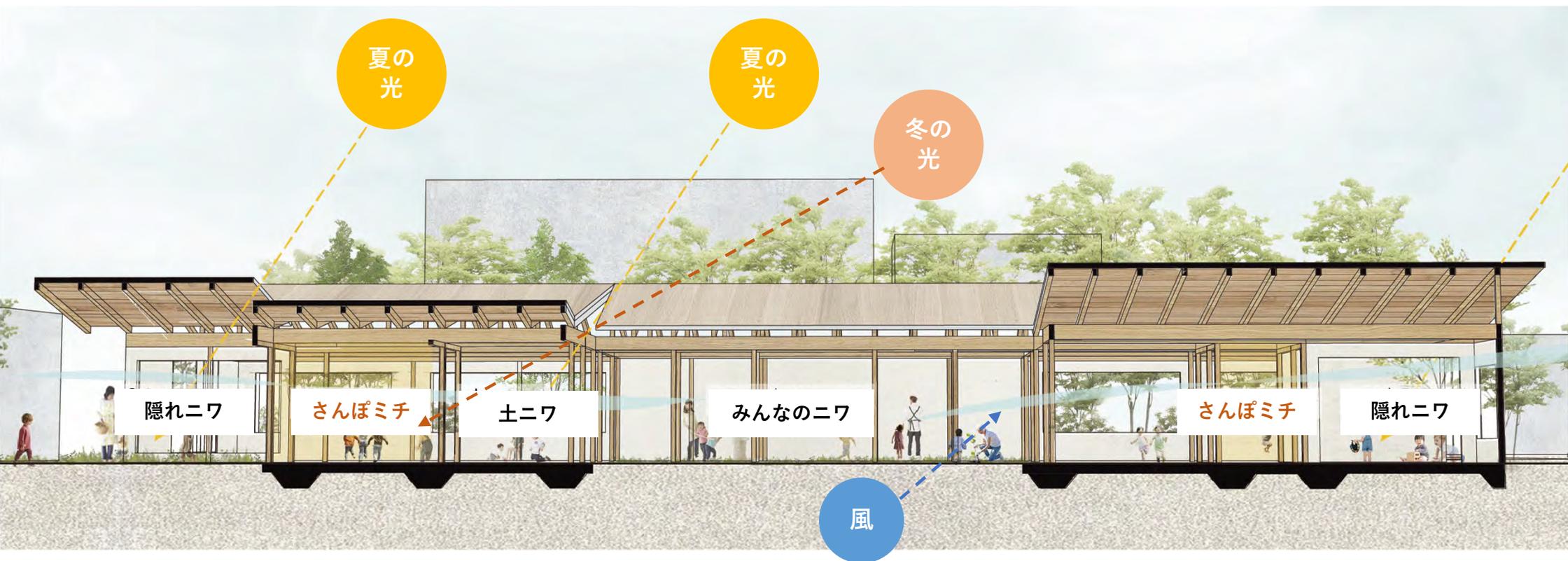
## 隠れニワ

手の届く位置に自然があり、お気に入りの場所を見つけられる





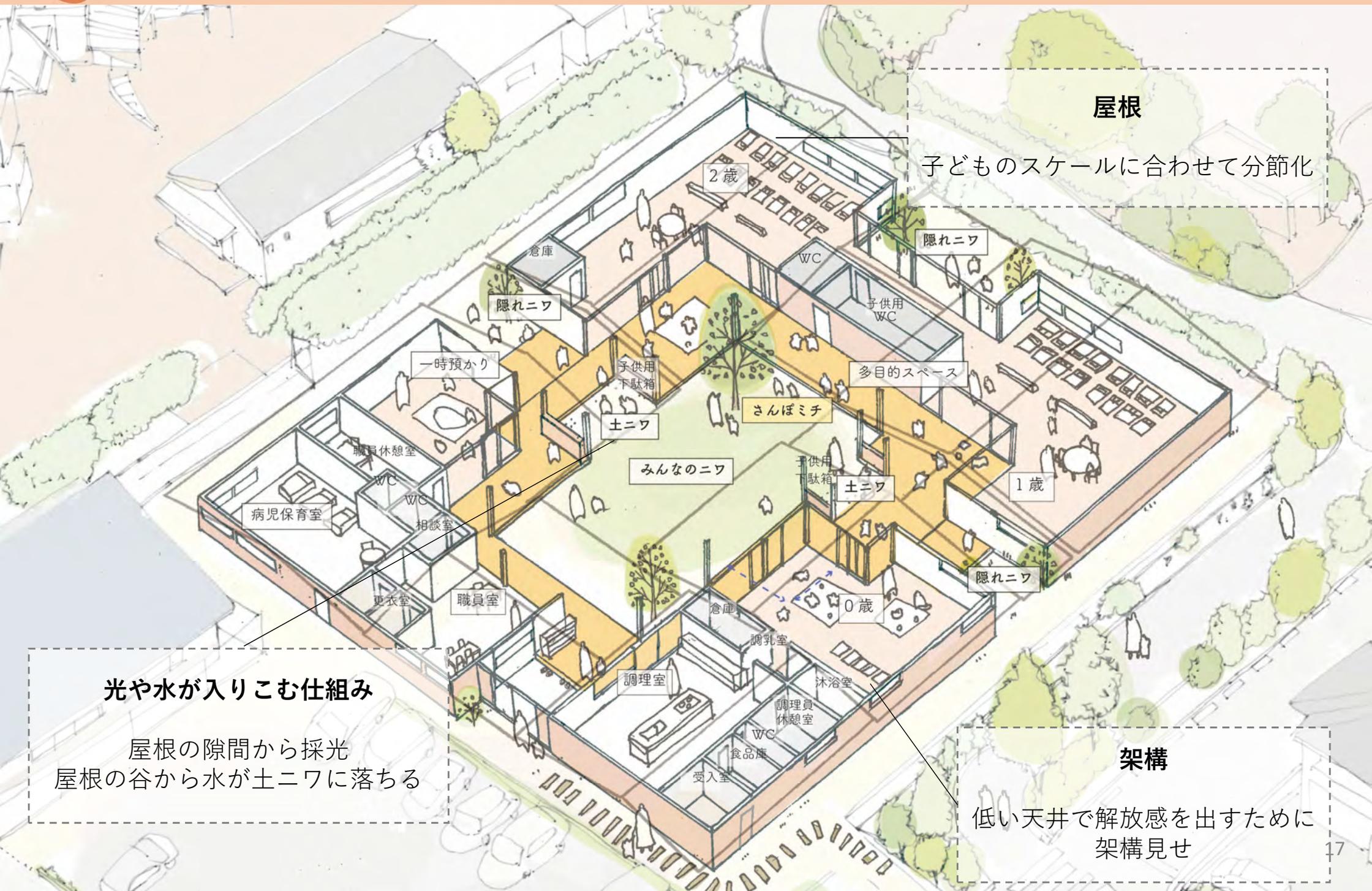
さんぽミチがニワとニワを繋ぎ、屋内外の境界を緩やかにする



●さんぽミチ

夏：深い軒下空間となり、大きな日影と涼しい風を取り込む

冬：柔らかい光が差し込む、陽だまり空間ができる



屋根

子どものスケールに合わせて分節化

光や水が入りこむ仕組み

屋根の隙間から採光  
屋根の谷から水が土ニワに落ちる

架構

低い天井で解放感を出すために  
架構見せ

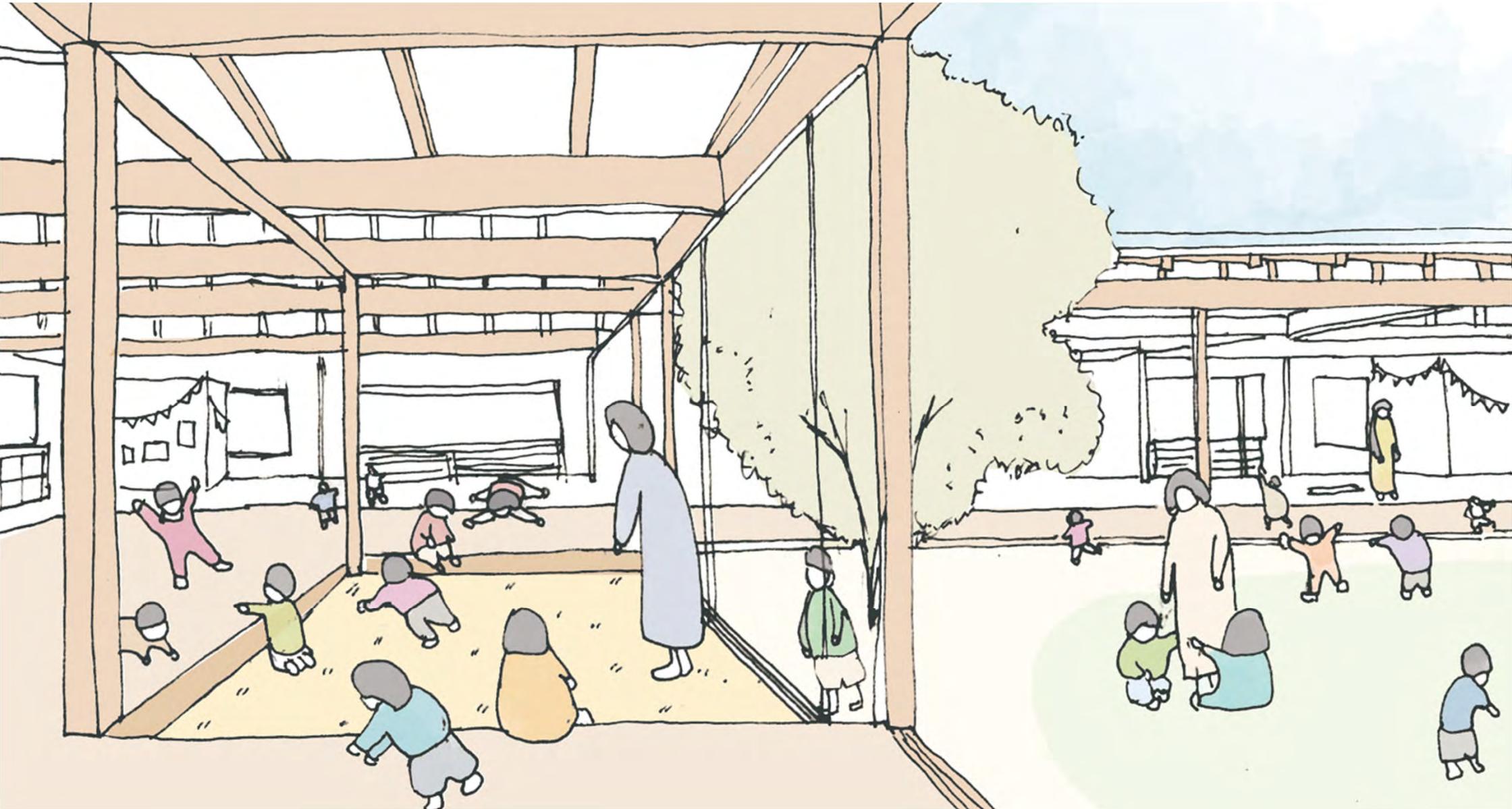


8:00 登園





9:00 室内遊び・外遊び





11:00 散歩（外気浴）





12:00 お昼ご飯





14:00 お昼寝





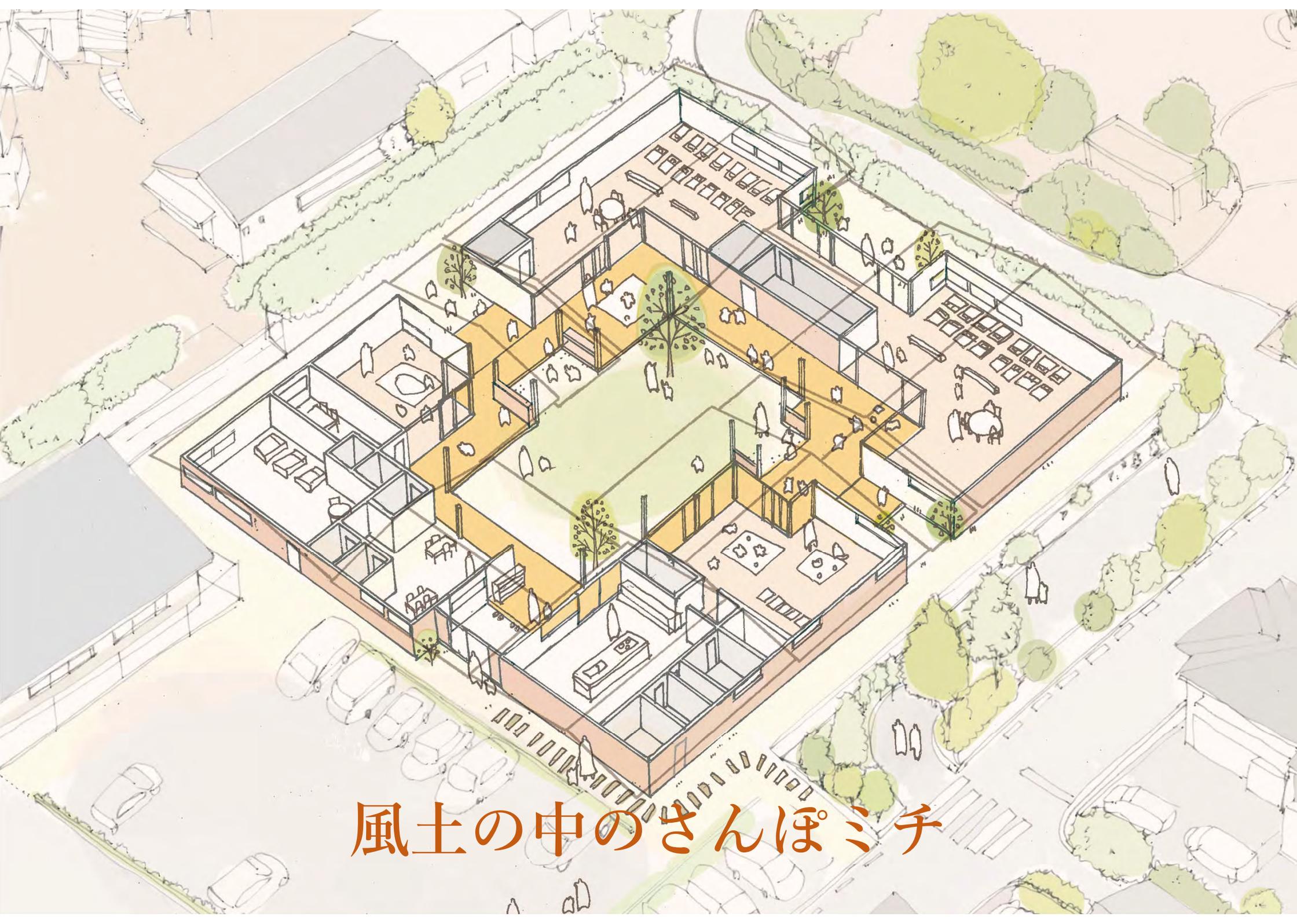
15:00 室内遊び・おやつ





16:00 お迎え





風土の中のさんぽミチ